

概要	
校 長 接 り 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	Message from the President, Introduction1History2Emeritus Professors4Educational Principle, School Precepts5Educational Goals6
組 織学 科創 造 工 学 科	Organization 7 Department of Creative Engineering 9
環境・エネルギー工学系 エネルギーコースス 用 化 学 コースス 環 境 在 命 エ 学 系 人 間 ・	Division of Environmental and Energy Engineering 12 Energy Course 14 Applied Chemistry Course 16 Life and Environmental Science Course 18 Division of Human and Welfare Engineering 20 Mechanics Course 24
情報システムコース 建 築 コ ー ス 一 般 教 育 科 専 攻 科	Information System Course
- 算 	Advanced Engineering Course · · · · · 33
生産情報システム工学専攻応用物質工学専攻建 築 学 専 攻専 攻専 攻 科教育課程 [複合生産システム工学] プログラム	Advanced Production and Information Systems Engineering Course
施設 • 組織等	
図書館、情報処理センター 地域共同テクノセンター、約 Regional Collaboration Cent 学生サポートセンター、有別 Student Support Center, Yo 男女共同参画支援室、国際	u-Yu Information Office ·······43
活動	
年 間 行 事会 学 生 会 組 織 高専体育大会成績 コンテスト等成績 教 員 の 研 究 活 動 地 域 と の 交 流	College Calendar46Student Council47Chart of Student Council47The Principal Records of Athletic Meets in Colleges of Technology47The Principal Records of Contests in Colleges of Technology48Research49Regional Interchange50
収入·支出決算額、外部資金	Situation of Finance, External Funds······51
学 生 学科別学生定員・現員 専攻科学生定員・現員 専攻科学生定員・現員 入学志願者数・倍率 新入生の出身地 徴収費用一覧 卒 業 生 卒業生数、卒業者の進路状況 大学編入学・高専専攻科進学状況 大学大学院進学状況	Students52Admission Capacity and Present Number of Students52Admission Capacity and Present Number of Students (Advanced Engineering Course)52Number of Applicants and Competitive Ratio of Entrance Examination53Hometown Classification of Students53List of Collection Expenses53Graduates54Number of Graduates, Employment or Academic Position of Graduates54Entrance into Universities54Entrance into Graduate Schools55
就職状況一覧表	List of Employment · · · · · · 55
施 設	Facilities · · · · · 56
校舎等建物明細 施設配置図 アクセスマップ 連絡先	Details of College Buildings 56 Campus Map 57 Location Contact Us 58



Message from the President



崹 校長 江 尚 和

高専(高等専門学校)は長い歴史と伝統をもった、高度で実践的かつ創造的な技術 者を育成する学校です。中学の卒業生を受入れ、本科での5年間、さらには専攻科に 至る2年間を通して、基礎的な技術から専門・応用的な技術までを一貫して得ること のできる、世界にも類を見ない教育機関であるというのが特徴です。

有明高専もこのような歴史と伝統の中で培われた、優秀な学生たちを社会に輩出し ている日本有数の高専です。平成 28 年度より、機械・電気・電子情報・物質・建築と いう5つの分野にそれぞれ分かれていた学科体制を「創造工学科」という一つの学科 に再編・統合し、本年度で6年目を迎えます。従って、学科を隔てる壁がなくなり、 学校が一丸となってそれらの分野を繋ぎ目なくカバーしていこうという新しい高専に 生まれ変わっています。このことにより、従来の専門分野に特化した技術や知識をも った人材育成ではなく、融合・複合的分野の知識・技術をもった「人財」育成が可能 となりました。近年の産業構造・技術の変化に加え、高度な科学技術力と多様化する 社会的ニーズに対応できる人財の育成です。また、学生は自身の進む分野を入学時に 決めなくても、入学後に授業や専門の説明を受けてから進むべき道を決定できるとい う柔軟な選択ができるようになりました。

高専は海外で「KOSEN」とそのままの名称で呼ばれるようになってきており、海外の 多くの大学ともつながりをもっています。学生にはグローバル化に対応できるように なってもらうために、学校が提供する国際交流プログラムや海外インターンシップへ の参加、国際学会での研究発表などを積極的に行ってもらうことで、グローバルマイ

ンドを育てています。このグローバル性と科学技術力があいまって、イノベイティブ(革新的)でグローバル(国際的)なマ インド(精神)をもった人財になることが理想であり、その育成が学校の使命であると考えています。

KOSEN (Institute of technology) is a school system with a long history which aims to cultivate advanced, practical, and creative engineers. This unique 5 year system begins after junior high, teaching students everything from liberal arts to highly specialized and applied technology. An additional 2 year advanced course is also offered.

Ariake KOSEN is one of the leading KOSENs in Japan and has a long history and tradition of fostering excellent students, who have gone on to great things. In 2016, the school was reorganized under the umbrella term, Department of Creative Engineering, which attempts to reduce barriers between the 5 main departments of Engineering: Mechanical Engineering, Electrical Engineering, Electronics and Information Engineering, Chemical Science and Engineering, and Architecture. This year will be the 6th year since this restructuring.

This change enables the school to better create well rounded, flexible engineers with a broad skill set who can readily adapt to rapidly changing technology and social needs. Formerly, students had to decide their major before their entrance, but after the reorganization, students now choose their future path after the entrance, while they learn about specialized fields in class.

The idea of KOSEN is gaining traction in foreign countries as well. This is due to KOSENs here in Japan becoming more globalized and interacting with universities around the world with many different exchange programs and internships. These international exchange programs and internships expose students to academic conferences and cultural immersion programs, to develop a more global mindset. The integration between globalism and technology can help make KOSEN students broadminded experts in their fields. This is the goal of our teachers, researchers, and administrators who all work as one to support our students in becoming creative engineers.

緒言 Introduction

本校は昭和38年に創立された国立の高等教育機関です。平成28年度より、機械工学、電気工学、電子情報工学、物質工学、 建築学の5学科を「創造工学科」の1学科に再編しました。本学科は環境・エネルギー工学系(エネルギー、応用化学、環境 生命の各コース)と人間・福祉工学系(メカニクス、情報システム、建築の各コース)の2系6コースで構成され、2年生後 期から、各コースに分かれます。創造工学科の入学定員は200名で、学生総定員は1,000名です。これまでの卒業生は8,477名に のぼり、各分野において広く社会の期待に応えて活躍しています。

高専教育の特色は、「5年間の一貫教育・基礎学力と実験実習を重んずる教育」による高度な実践的技術者の養成にありま す。本校では、専門科目と一般科目を5年間にわたって有機的に配置した教育課程によって、大学工学部卒と同程度の深い専 門知識と高い技術力を備えた実践的技術者を育成しています。

また、平成13年度には専攻科(生産情報システム工学専攻、応用物質工学専攻、建築学専攻)を設置し、これまで518名の 修了生を輩出し、高度な技術者育成機関として一層の充実を図っています。

本校は大牟田・荒尾の各駅から約5km離れた萩尾台(福岡県大牟田市)にあり、近くに三池山・小岱山の四季の緑、遠くに 有明海を隔てて雲仙・多良岳を望むことができます。寄宿舎は、学校から歩いて5分程度のところにありながら、熊本県荒尾 市に属し、校舎と寄宿舎の所在地が福岡、熊本両県に分かれています。

このような恵まれた教育環境の中で、学生が、自主的に自己形成に努めることによって、科学的知見を人間の生活に役立つ 「もの」として実体化し、価値を生み出すことに喜びを感じ、技術を通じて人類の繁栄に貢献することに誇りと自負をもち、 将来の日本を背負って立つ技術者に育つこと、これが学校の願いです。

Ariake Kosen (Kosen means national institute of technology) was founded by the national government in 1963. In 2016, its five departments (Mechanical Engineering, Electrical Engineering, Electronics and Information Engineering, Chemical Science and Engineering, and Architecture) were reorganized under a single heading—the Department of Creative Engineering. This department is further divided into two divisions, each of which contains three related courses of study. The Division of Environmental Energy includes the Energy Course, Applied Chemistry Course, and Environmental Science Course. While the Division of Human Welfare includes the Mechanics Course, Information System Course, and Architecture Course. In the second-year, the students are placed into one of the six courses. 200 students are admitted yearly into the Kosen. The five-year program thus contains about 1,000 students in total. Ariake Kosen has already sent 8,477 graduates out into various fields in industry. Almost all of them play a very important role in society. important role in society

The college incorporates both specialized and general education into a curriculum that encourages students to be the equal of university students in specialized knowledge and capacity, and trains them to be excellent practical engineers.

The Advanced Course, consisting of Advanced Production and Information Systems Engineering Course, Advanced Chemical Science and Engineering Course, Advanced Architecture Course, was founded in 2001, and 518 students have graduated thus far. The Advanced Course is making further developments to educate highly skilled engineers.

The campus lies on a hill called Hagio-dai which is on the outskirts of Omuta City, Fukuoka Pref. and is about 5 km away from both Omuta Station and Arao Station. The dormitory is located in the east of Arao City, Kumamoto Pref. and it is a 5 minute walk to the

campus.

The students are expected to develop their skills of cooperation, live an active and engaged life, and be creative. The program helps students lead a wholesome life in both mind and body. Kosen advises them to cultivate friendship, trust, and harmony through various extracurricular activities in addition to their formal instruction.

昭和38年4月1日 有明工業高等専門学校(機械工学科・電気工学科・工業化学科)が設置され、初代校長に熊本大学工学部 長牛尾広恵就任 4月20日 荒尾市増永の仮校舎で開校 10月23日 大牟田市東萩尾の現校地に校舎新営工事を着工 昭和39年3月25日 寄宿舎(若葉棟)竣工 3月31日 一般科目棟・管理棟竣工 昭和40年3月17日 第2期新営工事竣工(電気工学科棟・工業化学科棟・機械工場・寄宿舎青葉棟) 昭和41年3月27日 第3期新営工事竣工(機械工学科棟・体育館・寄宿舎紅葉棟) 4月1日 事務部制を実施し、庶務・会計の2課新設 10月11日 校舎落成式挙行 昭和42年11月15日 武道場竣工 昭和43年4月1日 建築学科増設 第2代校長に元熊本大学工学部長誉田敏雄就任 9月1日 昭和44年3月20日 建築学科棟・寄宿舎銀杏棟竣工 昭和45年4月1日 学生課新設 11月6日 校長誉田敏雄死去、同日付けで校長事務取扱に文部教官大石豊二郎就任 昭和46年1月20日 第3代校長に元熊本大学工学部長轟一郎就任 昭和47年2月25日 図書館棟竣工 昭和48年11月1日 創立10周年記念式典挙行 昭和49年3月30日 電子計算機室が図書館棟3階に竣工 L.L. (語学演習室) 教室が一般科目棟に竣工 昭和51年3月9日 昭和52年2月28日 総合実習センター竣工 第4代校長に九州大学工学部教授吉村虎蔵就任 昭和55年4月1日 昭和56年3月17日 第2体育館竣工 昭和57年3月30日 環境開発教育研究施設 (現:開発研究棟) 竣工 昭和58年3月11日 福利施設 (修己館) 竣工 10月29日 創立20周年記念式典挙行 昭和61年4月1日 第5代校長に九州大学工学部教授竹村哲男就任 平成元年4月1日 電子情報工学科増設 平成3年3月20日 電子情報工学科棟竣工 平成4年4月2日 第6代校長に元九州大学工学部長髙松康生就任 平成5年3月25日 寄宿舎女子棟(桜棟)竣工 11月6日 創立30周年記念式典挙行 平成6年4月1日 工業化学科を物質工学科に改組 物質工学科生物棟竣工 平成8年3月22日

第7代校長に元九州大学工学部長山藤馨就任

平成9年4月2日

平成11年4月1日 学生相談室設置 平成12年3月15日 一般科目棟改修・合同教育棟・共通専門棟竣工 平成13年4月1日 専攻科(生産情報システム工学専攻・応用物質工学専攻・建築学専攻)設置 4月1日 教育研究技術支援センター設置 9月25日 機械工学科棟・物質工学科棟改修 11月30日 総合実習センター改修 平成14年1月17日 地域共同テクノセンター設置 4月1日 第8代校長に元九州大学工学部長尾﨑龍夫就任 9月30日 電気工学科・建築学科・第一体育館改修及び連絡通路(一般教育棟、建築学科棟間)竣工 平成15年3月20日 総合研究棟竣工 創立40周年・総合研究棟竣工記念式典挙行 4月19日 国立学校設置法の廃止及び独立行政法人国立高等専門学校機構法の施行に伴い、有明工業高等専門学校は、独立行政法 平成16年4月1日 人国立高等専門学校機構が設置する国立高等専門学校へ移行 平成17年6月17日 中国遼寧石油化工大学との国際交流協定締結 平成18年1月12日 大牟田病院との連携交流協定締結 4月1日 マルチメディアセンター設置 7月1日 進路支援室設置 7月19日 有友情報室設置 平成19年3月23日 大牟田市教育委員会との連携協力協定締結 4月1日 事務部2課体制移行に伴い、庶務課・会計課を総務課に再編 7月30日 寄宿舎 (青葉棟) 改修 12月28日 図書館棟改修 平成20年3月24日 大牟田市との連携協力に関する包括協定書締結 第9代校長に元九州大学大学院システム情報科学研究院長立居場光生就任 4月2日 平成23年3月9日 荒尾市教育委員会との連携協力協定締結 平成25年3月14日 男女共同参画支援室設置 4月1日 第10代校長に元独立行政法人大学評価・学位授与機構理事福島健郎就任 創立50周年記念式典挙行 11月9日 12月19日 校訓制定 平成28年4月1日 機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、物質工学科、建築学科の5学科を創造工学科1学科に改組 第11代校長に元独立行政法人国立高等専門学校機構研究・産学連携推進室室長 兼 仙台高等専門学校教授 高橋薫就任 木村情報技術㈱からの寄附により、「人工知能・ビジネス講座(木村情報技術)」が開設 平成29年4月1日 4月1日 学生サポートセンター設置 教育研究技術支援センターを技術部に改組 平成30年11月3日 同窓会「有友倶楽部」創立50周年を記念し、正門前に時計塔が寄贈された 平成31年4月1日 第12代校長に元鈴鹿工業高等専門学校教授江崎尚和就任 令和3年4月1日 入試広報室設置





教育理念 **Educational Principle**

幅広い工学基礎と豊かな教養を基盤に、創造性、多様性、学際性、 国際性に富む実践的な高度技術者の育成を目指す

OUR STUDENTS SHOULD BE EDUCATED TO BE TECHNOLOGICAL ENGINEERS CHARACTERIZED BY CREATIVETY, SELF-DEVELOPMENT, INTERDISCIPLINARITY, AND INTERNATIONALITY ON THE BASIS OF EXTENSIVE KNOWLEDGE OF BASIC TECHNOLOGY AS WELL AS HIGH CULTURE

BE CREATIVE

in producing commodities making full use of your unique personality, originality and ingenuity

独創性に富む豊かな発想で 「ものづくり」の創造性を 発揮できる個性が輝く技術者

学際的技術分野で活躍するのに 十分優れた共同活動能力を もつ技術者

BE INTERDISCIPLINARY

in active collaboration with engineers and scientists of various fields

社会の進展・多様化に対応できる 自己啓発・向上能力に富む技術者

BE SELF-DEVELOPABLE

地域活性化の核となる

地域と密着した開かれた有明高専

COLLABORATING

WITH THE COMMUNITY

as the core activator

especially of local industries

by cultivating your faculties to adapt yourself to the innovation and diversification of the society

国際社会で活躍できる 広い視野・教養をもつ 国際性豊かな技術者

BE INTERNATIONALLY MINDED

to work and communicate successfully in the global society

工学基礎・教養

高い倫理性や豊かな人間性に あふれた技術者 幅広い工学基礎教育と 豊かな教養

BASIC TECHNOLOGY AND CULTURE on a firm foundation of morality and humanity

人に優しい、自然と共存できる技術の開発を目指して 諸課題に柔軟に対応できる技術者

AIM AT COPING WITH PROBLEMS FLEXIBLY FOR THE GOAL OF DEVELOPING HUMAN FRIENDLY TECHNOLOGY HARMONIZED WITH NATURAL ENVIRONMENT

校訓 School Precepts

進取創造

[Shinshu-Sozo]

新たな価値を創造する能力を身 につけ、社会や技術の変化に対応 できる自己啓発・向上能力に富 み、国際社会で活躍できる実践的 技術者の育成を目指すこと

Shinshu-sozo is to pursue the goal of creating practical engineers who can cope appropriately with changes in technology and society by acquiring new values of competence, individual self-development, and ambitious spirit.

和神養素

[Washin-Yoso]

平素から落ち着いて勉学に励 み、幅広い工学基礎と豊かな教養 を身につけ、一人ひとりが、多様な 個性・能力を伸ばし、自主的に学ん でいくことができる実践的技術者の 育成を目指すこと

Washin-yoso is to pursue the goal of being practical engineers withcultured minds through keeping the focus on learning voluntarily, acquiring skills of industrial infrastructures, extending individualityand your ability.

校訓碑 創立50周年を記念して 平成26年3月6日建立

友愛協調

[Yuai-Kyocho]

個人としての責任を果たし、個人 や社会の多様性を尊重し、お互い に支え合い、社会に参画することが できる人材および学際的技術分野 で活躍するに十分に優れた協同活 動能力をもつ実践的技術者の育 成を目指すこと

Yuai-kyocho is to pursue the goal of fostering practical engineers who can respect the diversity of individuals and society, also mutually support each other. Another goal of Yuai-kyochou is to produce human resources with great corporative skills and to transmit their thoughts freely in the academic field.



本科(1学年から5学年) Regular Course

- (A)豊かな教養と国際性
- (A-1) 考察力 地球的視野から物事を多面的に理解できること
- (A-2) 倫理観 社会や自然の中での技術の役割を理解し、技術者としての責任を自覚できること
- (A-3) コミュニケーション能力 適切かつ円滑に読解・表現ができること
- (B) 専門知識と学際性
- (B-1) 基礎知識 専門分野の基礎となる内容を理解していること
- (B-2) 専門知識 専門分野の内容を理解していること
- (B-3) 実践力 実験・実習等の内容を理解・実行・考察できること
- (B-4) 学際的知識 様々な分野の知識と技術を理解し、複合的に活用するための視野をもっていること
- (C) 創造性とデザイン能力
- (C-1) 課題探究力 自ら課題を発見し、その本質を理解できること
- (0-2) 課題解決力 身につけた教養と実践力を活用し、課題を解決できること
- (A) Good education and international minds
- (A-1) Consideration: To be able to view the situation from a global and multifaceted perspective
- (A-2) Ethical sense: To be able to recognize the role of technology in nature or society and be aware of their social responsibilities
- (A-3) Communication skills: To be able to read and express themselves appropriately and smoothly
- (B) Discipline-specific knowledge combined with interdisciplinary understanding
- (B-1) Basic knowledge: To understand the basic subject matter of discipline-specific fields
- (B-2) Technological expertise: To understand the content of discipline-specific fields
- (B-3) Practice: To be able to understand the content of experiments or exercises to conduct them and discuss them
- (B-4) Interdisciplinary technological knowledge: To have knowledge and skills of diverse fields with a vision of applying them in a compound approach
- (C) Creativity and engineering design ability
- (C-1) Problem-exploring ability: To be able to identify problems and understand their nature
- (C-2) Problem-solving ability: To be able to solve problems using education and practical knowledge acquired

専攻科 Advanced Engineering Course

- (A) 豊かな教養と国際性
- (A-1)多面的考察力 物事を多面的に考察できること すなわち、自然科学の素養の修得に加えて、人文科学系科目の修得を通して、豊かな教養や国際感覚を身につけ、自分自身を把握するとともに自国・他国の文化を理解し、それらを基に、物事を多面的に考察できること
- (A-2) 高い倫理観 技術者としての倫理観を確立できること すなわち、社会系科目や環境関連の科目の修得を通して、一般的な倫理 観はもちろんのこと、技術が自然・人間・環境に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理観を身につけ、社会における技術者の責任を自覚できること
- (A-3) コミュニケーション能力 日本語および外国語によるコミュニケーションを適切にできること すなわち、発表・討議を伴う科目の修得を通して、日本語による記述・口頭発表・討議を、相手に理解できるように論理的かつ的確にできること、また、語学系科目の修得により、日常生活に必要なレベルの英語等の外国語を理解し、使用できること
- (B) 専門知識と学際性
- (B-1) **工学の基礎知識** 工学の基礎知識を専門に応用できるまで理解できること すなわち、自然科学系科目や情報技術および基礎 工学の知識の修得を通して、数学的手法・自然法則や情報技術および工学の基礎的知識の概念や理論を理解し、論理的思考力を養い、それらの知識や思考力を専門科目に応用できること
- (B-2) **工学の専門知識** 工学の専門知識を深く理解できること すなわち、専門分野の科目の修得を通して、専門分野の知識・技術を 将来の仕事で活用できるまで理解できること さらに、これらの学習において自発的学習方法を身につけ、生涯にわたって自分で新たな知識などを獲得し自主的に継続して学習する習慣を身につけること
- (B-3) **実践力** 実験・実習等を確実に実践できること すなわち、実技系科目(実験・実習・演習等)の修得を通して、実働を計画的かつ確実に実践できること そこで得られた結果を学んだ知識と関連させて考察でき、それらの記述説明が的確にできること
- (B-4) **工学の学際的知識** 工学の学際的知識を専門知識に活用できる程度に修得すること すなわち、学際的資質育成科目等の修得を通して、複眼的な視野を広げ、異分野の知識・技術を専門知識に活用できるまで理解できること
- (C) 創造性とデザイン能力
- (C-1)課題探究力 現状を進展させるための課題の探求・理解が自らできること すなわち、特別研究や特別演習・合同演習等の科 目の修得を通して、現状を進展させるために創造性を発揮して自ら課題を見つけ、課題の本質を理解できること
- (C-2) 課題解決力 様々な問題に対処できるデザイン能力を修得すること すなわち、特別研究や特別演習・合同演習等の科目の修得を通して、様々な問題に対して、これまで身につけた多面的考察力・工学の知識・実践力等を総合して活用し、現状での最適な解を見出すことができること また、研究や作業を計画的に実行し完結させる力を身につけること さらに、他学科の学生と協同で実働する科目の修得を通して、他分野の人たちとのチームワークを実行できる能力を身につけること
- (A) Good education and international minds
- (A-1) Multifaceted view: To be able to view the situation from different perspectives
- (A-2) High ethical sense: To be able to establish ethical sense as engineers
- (A-3) Communication skills: To be able to communicate with others well in Japanese and also in foreign languages
- (B) Discipline-specific expertise and interdisciplinary understanding
- (B-1) Basic knowledge of technology: To be able to understand basic technological knowledge for the practical application in their special fields
- (B-2) Technological expertise: To be able to understand technological expertise deeply
- (B-3) Practice: To be able to conduct experiments and exercises completely
- (B-4) Interdisciplinary technological knowledge: To learn technological interdisciplinary knowledge for the practical application in discipline-specific expertise
- (C) Creativity and engineering design ability
- (C-1) Problem-exploring ability. To be able to explore and comprehend problems to improve the present situation
- (C-2) Problem-solving ability: To acquire engineering design ability to deal with various problems

定員および現員 Fixed and Present Number of Staff

区分 Classification		教育	事務職員	合計				
	校長 President	教授 Professor	准教授 Associate Professor	講師 Lecturer	助教 Assistant Professor	計 Total	技術職員 Administrative and Technical Staff	Grand Total
人員枠 Fixed Number	1	37	36	0	0	74	46	120
現員 Present Number	1	30(1)	28(3)	5(1)	8(1)	72(6)	46(12)	118(18)

※令和 3 年 5 月 1 日現在 As of May 1,2021 ※高専・両技科大間教員交流の数含む。

※括弧内の数字は、女性教職数で内数 () shows number of female staff

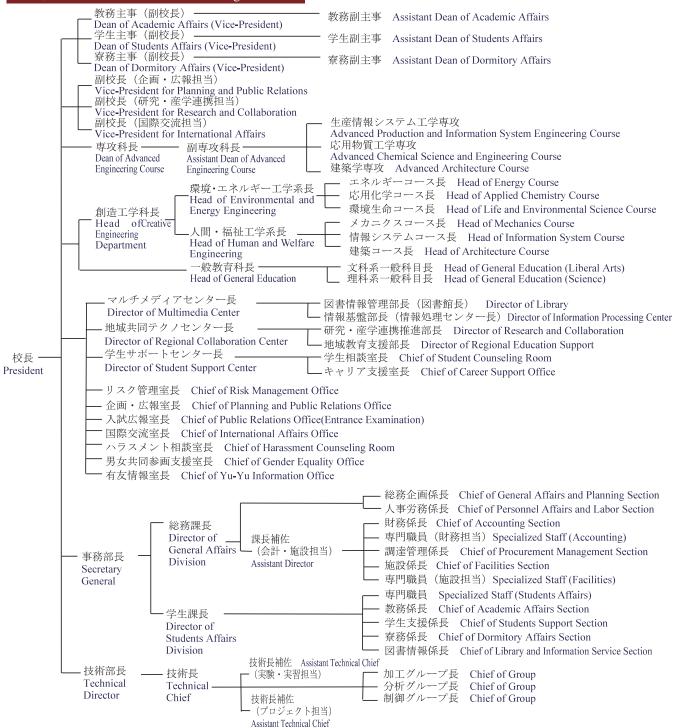
教員年齡分布 Teachers' Ages

年代 Age	20代 20's	30代 30's	40代 40's	50代 50's	60代 60's	計 Total
人数Number	1(0)	13(1)	30(3)	22(2)	6(0)	72(6)
割合Rate	1.39%	18.06%	41.67%	30.56%	8.33%	100%

※ 令和3年5月1日現在 As of May 1, 2021

※括弧内の数字は、女性教員数で内数 () shows number of female staff

組織図 Chart of Administrative Organization



役職者名 Executive Directors

教育職 Educational Personnel

校長 江 﨑 尚 和 President EZAKI, Hisakazu

教務主事(副校長) 明 石 剛 二 Dean of Academic Affairs (Vice-President) AKASHI, Koji

学生主事 (副校長) 学生サポートセンター長 石 丸 智 士 Dean of Students Affairs (Vice-President) ISHIMARU, Satoshi Director of Student Support Center

松尾明洋 寮務主事(副校長) Dean of Dormitory Affairs (Vice-President) MATSUO, Akihiro

副校長(企画・広報担当)

Vice-President for Planning and Public Relations, Chief of Planning and Public Relations Office

副校長 (研究・産学連携担当) 地域共同テクノセンター長 Vice-President for Research and Collaboration Director of Regional Collaboration Center

副校長(国際交流担当)

Vice-President for International Affairs, Chief of International Affairs Office

Dean of Advanced Engineering Course TANAKA, Yasunori

Head of Creative Engineering AKASHI, Koji

環境・エネルギー工学系長 冨 永 伸 明 Head of Environmental and Energy Engineering TOMINAGA, Nobuaki

Head of Energy Course KONO, Susumu

Head of Applied Chemistry Course TOMINAGA, Nobuaki

Head of Life and Environmental Science Course TOMINAGA, Nobuaki

人間・福祉工学系長 松 岡 高 弘

メカニクスコース長 南

情報システムコース長 松 野 哲 也

建築コース長 松 岡 高 弘

一般教育科長 村 田 和 穂

文科系一般科目長 村 田 和 穂 Head of General Education (Liberal Arts) MURATA, Kazuho

図書館長 村 田 和 穂

情報処理センター長 森 山 英 明

Director of Information Processing Center MORIYAMA, Hideaki

Chief of Public Relations Office (Entrance Examination) NISHIYAMA, Harutoshi

学生相談室長 香 川 純 子

キャリア支援室長 南 明 宏

Chief of Career Support Office MINAMI, Akihiro

Chief of Harassment Counseling Room MURAOKA, Yoshinori

男女共同参画支援室長 嘉 藤 直 子 Chief of Gender Equality Office KATO, Naoko

Chief of Yu-Yu Information Office TAZUNEKI, Shin-ichi

企画・広報室長 村 岡 良 紀 MURAOKA, Yoshinori

> 菅 沼 SUGANUMA, Akira

国際交流室長 山 口 英 一 YAMAGUCHI, Eiichi

専攻科長 田 中 康 徳

創造工学科長 明 石 剛 二

エネルギーコース長 河 野 晋

応用化学コース長 冨 永 伸 明

環境生命コース長 冨 永 伸 明

Head of Human and Welfare Engineering MATSUOKA, Takahiro

明 宏

Head of Mechanics Course MINAMI, Akihiro Head of Information System Course MATSUNO, Tetsuya

Head of Architecture Course MATSUOKA, Takahiro

Head of General Education MURATA, Kazuho

理科系一般科目長 村 岡 良 紀 Head of General Education (Science) MURAOKA, Yoshinori

マルチメディアセンター長松野良信 Director of Multimedia Center MATSUNO, Yoshinobu

Director of Library MURATA, Kazuho

技術部長 菅 沼 明 Technical Director SUGANUMA, Akira

入試広報室長 西 山 治 利

Chief of Student Counseling Room KAGAWA, Junko

ハラスメント相談室長 村 岡 良 紀

有友情報室長 尋 木 信 一

事務職 Administrative Staff

事務部長 髙 嶋 重 俊 Secretary General TAKASHIMA, Shigetoshi

総務課長 末 次 剛健志

Director of General Affairs Division SUETSUGU, Takeshi 学生課長 江 崎

Director of Students Affairs Division ESAKI, Hiroshi

総務課課長補佐(会計・施設担当) 舟 津 信 一 Assistant Director of Accounting and Facilities Division FUNATSU, Shin-ichi

総務企画係長 古 瀬 英 機

Chief of General Affairs and Planning Section FURUSE, Hideki

人事労務係長 益 田 力 Chief of Personnel Affairs and Labor Section MASUDA, Chikara

財務係長 宮 﨑 洋

Chief of Accounting Section MIYAZAKI, Hiroshi

専門職員(財務担当) 松本慧子 Specialized Staff (Accounting) MATSUMOTO, Keiko

調達管理係長 生 駒 里絵子 Chief of Procurement Management Section IKOMA, Rieko

施設係長 山 下 大 輔

Chief of Facilities Section YAMASHITA, Daisuke

専門職員(施設担当) 小島正憲 Specialized Staff (Facilities) KOJIMA, Masanori

学生課専門職員 新 里 Specialized Staff (Students Affairs) SHINZATO, Yu

教務係長 西 嶌 健 司

Chief of Academic Affairs Section NISHIJIMA, Kenji

学生支援係長 西 口 節 子 Chief of Students Support Section NISHIGUCHI, Setsuko

寮務係長 甲 斐 政 市 Chief of Dormitory Affairs Section KAI, Masaichi

図書情報係長 (併)江 崎 Chief of Library and Information Section ESAKI, Hiroshi

技術職 Technical Staff

技術長 堀 田 孝 之 Technical Chief HORITA, Takayuki

技術専門員 森 田 恵 一 (技術長補佐 (プロジェクト担当))

Technical Expert MORITA, Keiichi

(技術長補佐 (実験・実習担当))

技術専門職員 松 川 真 也 Technical Senior Staff

MATSUKAWA, Shinya

技術専門職員 池 上 勝 也

Technical Senior Staff IKEGAMI, Katsuya 技術専門職員 田 中 三 雄

Technical Senior Staff TANAKA, Mitsuo

技術専門職員 大 木 泰 仁

Technical Senior Staff OHKI, Yasuhito 技術専門職員 吉 冨 貴 司

Technical Senior Staff YOSHITOMI, Takashi

技術専門職員 荻 島 真 澄 Technical Senior Staff OGISHIMA, Masumi

技術専門職員 石 橋 大 作 Technical Senior Staff ISHIBASHI, Daisaku

技術専門職員 山 口 明 美

Technical Senior Staff YAMAGUCHI, Akemi 技術専門職員 真 島 吉 将

Technical Senior Staff MASHIMA, Yoshimasa

技術専門職員 中 島 正 寛 Technical Senior Staff NAKASHIMA, Masahiro

技術専門職員 古 賀 つかさ Technical Senior Staff KOGA, Tsukasa

技術専門職員 青 柳 洋 平 Technical Senior Staff AOYAGI, Yohei